



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 株式会社ソシオネクスト 上場取引所 東  
 コード番号 6526 URL <https://www.socionext.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 肥塚 雅博  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 中島 弘雅 TEL 045 (568) 1000  
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年11月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	87,209	△12.1	3,767	△75.8	2,792	△80.9	2,058	△82.2
2025年3月期中間期	99,181	△15.2	15,556	△16.7	14,637	△28.4	11,586	△24.2

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 2,190百万円 (△80.1%) 2025年3月期中間期 10,986百万円 (△32.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	11.70	11.63
2025年3月期中間期	64.70	64.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	168,130	129,967	77.3
2025年3月期	170,312	137,046	80.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 129,967百万円 2025年3月期 137,046百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2026年3月期	-	25.00	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	-	-	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	0.8	10,000	△60.0	9,000	△64.2	6,700	△65.8	38.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	179,926,505株	2025年3月期	179,756,405株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	4,688,844株	2025年3月期	2,017,427株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	175,857,770株	2025年3月期中間期	179,081,280株

(注) 当社は、当中間連結会計期間より株式報酬制度「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。

期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託口（2026年3月期中間期 506,300株）」及び「株式付与ESOP信託口（2026年3月期中間期 705,700株）」が保有する当社株式が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期中間期 「役員報酬BIP信託口」33,200株及び「株式付与ESOP信託口」46,275株）。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

当社グループにおいては、ビジネスモデルの転換、グローバルな大型商談が見込まれる成長分野／先端分野へのシフト、さらに大胆な事業体制の変革等の構造改革を進めてきたことで、注力分野であるデータセンター／ネットワーク、オートモーティブ、スマートデバイス分野を中心に多くの大型商談を獲得してきました。それら商談の開発は順調に進捗しており、NRE売上への寄与や、SoCの量産が徐々に始まり製品売上に繋がりがつつあります。

また、先行開発では、日々進化する半導体エコシステムの最新の先端技術を活用するために、Arm Holdings plc (Arm社)及びTaiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited (TSMC社)との密な連携やimecとの共同開発等を通じて、2nm以細のプロセステクノロジー、チップレットや先進的なパッケージング技術への対応、また最新設計ツールの実用化及び開発プラットフォーム構築にも積極的に取り組んでおります。

なお、当社グループの事業セグメントは、「Solution SoC」ビジネスモデルで開発するSoCを主とする単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)における世界経済は、ウクライナや中東における軍事衝突等の地政学的リスクに加え、米国の関税や経済政策をめぐる不確実性、中国経済の内需低迷等の影響により、先行きの不透明な状況が継続しました。為替相場は、当中間連結会計期間の第1四半期に米国の景気や財政悪化への懸念や利下げ観測等から円高が進行しましたが、第2四半期には、日米間の金利差の継続等を背景に円安傾向に転じ、全体として不安定な推移となりました。

当中間連結会計期間の売上高は87,209百万円(前中間期比12.1%減)となりました。当社グループの売上は、量産段階で受領する製品売上と、設計開発に要する費用を段階的に受領するNRE売上から構成されております。製品売上については、第1四半期を底に、第2四半期から増加に転じておりますが、前中間期比では、データセンター／ネットワーク分野での中国市場における通信機器の需要減少等により、70,357百万円(前中間期比12.0%減)となりました。NRE売上は、16,428百万円(前中間期比12.4%減)となりました。

[売上高]

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
製品売上	79,952	70,357
NRE売上	18,756	16,428
その他	473	424
売上高合計	99,181	87,209

当中間連結会計期間における売上原価は45,274百万円、販売費及び一般管理費は38,168百万円となり、営業利益は3,767百万円(前中間期比75.8%減)となりました。これは、比較的粗利率の低い新規品の量産が始まったことによる製品原価率の上昇、先行開発のための開発投資を継続していること等によるものです。これに為替差損等に加え、経常利益は2,792百万円(前中間期比80.9%減)となりました。この結果、親会社株主に帰属する中間純利益は2,058百万円(前中間期比82.2%減)となりました。

当中間連結会計期間の1米ドルの平均為替レートは146.0円、前中間期比6.6円の円高となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は121,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,997百万円減少しました。これは主に、当中間連結会計期間末にかけての売上高増による売掛金の増加や新製品の量産開始による棚卸資産の増加があるものの、製造委託増による製造委託先への支払増に加え、配当金支払や自己株式の取得等により現金及び現金同等物が減少したことによるものです。

固定資産は46,837百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,815百万円増加しました。これは主に、獲得した商談の製品開発に係るレチクル、テストボード、設計開発環境の増強及びIPマクロ等の設備投資によるものであります。

この結果、総資産は168,130百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,182百万円減少しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は36,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,888百万円増加しました。これは主に、新製品の量産開始等に伴う買掛金の増加によるものであります。

この結果、負債合計は38,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,897百万円増加しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は129,967百万円となり、前連結会計年度末から7,079百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益2,058百万円、配当金の支払額4,443百万円及び自己株式の取得5,000百万円(2,722,400株)によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.3%となり、前連結会計年度末から3.2ポイント減少しております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は45,678百万円となり、前連結会計年度末に比べ27,159百万円減少しました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは6,603百万円の支出(前中間期は14,143百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,792百万円、減価償却費7,914百万円、売上債権の増加額8,881百万円及び棚卸資産の増加額11,186百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは10,954百万円の支出(前中間期は4,722百万円の支出)となりました。これは主に、獲得した商談の製品開発に係るレチクル、テストボード及び設計開発環境の増強等のための有形固定資産の取得による支出6,049百万円及びIPマクロ等の無形固定資産の取得による支出4,924百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは9,629百万円の支出(前中間期は4,320百万円の支出)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出5,000百万円及び配当金の支払額4,443百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきまして、売上高は新規量産品の需要が好調であること及び上期の為替が想定より円安で推移したことから、上方修正しております。

営業利益は、売上高は増加するものの、当初予想から、新規量産品の原価率の高い量産初期段階での想定を上回る数量増加と原価率改善の遅れ等による製品粗利率の悪化、並びに先行開発費の増加により下方修正しております。経常利益は、為替変動によって発生した為替差損等を考慮し修正しております。なお、2026年3月期第3四半期以降の為替レートは1米ドル=130円を前提としております。

また、配当については、当初予定通り年間で1株当たり50円00銭から変更しておりません。

詳細については、本日(2025年10月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[連結] 業績予想の修正

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 年間配当金 (円)
通 期	前回予想	175,000	14,000	14,000	10,500	50.00
	今回予想	190,000	10,000	9,000	6,700	50.00
	差 異	15,000	△4,000	△5,000	△3,800	0.00

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,837	40,678
売掛金	31,609	40,449
有価証券	-	5,000
製品	6,388	7,052
仕掛品	10,650	21,172
未収入金	866	2,036
前渡金	2,108	2,453
前払費用	1,800	2,275
その他	32	178
流動資産合計	126,290	121,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,462	2,302
機械装置及び運搬具(純額)	65	107
工具、器具及び備品(純額)	19,667	22,609
建設仮勘定	144	167
有形固定資産合計	22,338	25,185
無形固定資産		
技術資産	12,373	12,823
その他	2,035	1,883
無形固定資産合計	14,408	14,706
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	6,124	5,790
その他	1,152	1,156
投資その他の資産合計	7,276	6,946
固定資産合計	44,022	46,837
資産合計	170,312	168,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,936	17,561
未払金	4,597	7,157
未払費用	7,412	6,364
未払法人税等	3,361	687
その他	3,965	4,390
流動負債合計	31,271	36,159
固定負債		
資産除去債務	350	352
リース債務	1,298	1,187
その他	347	465
固定負債合計	1,995	2,004
負債合計	33,266	38,163
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	32,971	33,009
新株式申込証拠金	46	4
資本剰余金	32,971	33,919
利益剰余金	74,252	71,867
自己株式	△5,003	△10,773
株主資本合計	135,237	128,026
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,809	1,941
その他の包括利益累計額合計	1,809	1,941
純資産合計	137,046	129,967
負債純資産合計	170,312	168,130

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
売上高	99,181	87,209
売上原価	45,190	45,274
売上総利益	53,991	41,935
販売費及び一般管理費	38,435	38,168
営業利益	15,556	3,767
営業外収益		
受取利息	232	218
その他	24	11
営業外収益合計	256	229
営業外費用		
為替差損	1,149	1,131
その他	26	73
営業外費用合計	1,175	1,204
経常利益	14,637	2,792
特別利益		
固定資産売却益	1,790	-
特別利益合計	1,790	-
税金等調整前中間純利益	16,427	2,792
法人税、住民税及び事業税	2,429	397
法人税等調整額	2,412	337
法人税等合計	4,841	734
中間純利益	11,586	2,058
親会社株主に帰属する中間純利益	11,586	2,058



(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
中間純利益	11,586	2,058
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△600	132
その他の包括利益合計	△600	132
中間包括利益	10,986	2,190
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,986	2,190

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	16,427	2,792
減価償却費	7,703	7,914
受取利息及び受取配当金	△232	△218
固定資産除却損	192	138
固定資産売却損益(△は益)	△1,790	-
売上債権の増減額(△は増加)	4,703	△8,881
棚卸資産の増減額(△は増加)	5,961	△11,186
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,481	5,793
その他の資産の増減額(△は増加)	△585	△2,117
その他の負債の増減額(△は減少)	△9,523	△297
その他	198	2,240
小計	19,573	△3,822
利息及び配当金の受取額	232	218
法人税等の支払額	△5,662	△2,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,143	△6,603
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,617	△6,049
無形固定資産の取得による支出	△2,279	△4,924
固定資産の売却による収入	2,331	-
その他	△157	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,722	△10,954
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△248	△221
ストックオプションの行使による収入	313	31
新株式申込証拠金の払込による収入	△77	4
株式引受権の行使による収入	159	-
自己株式の取得による支出	-	△5,000
配当金の支払額	△4,467	△4,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,320	△9,629
現金及び現金同等物に係る換算差額	△872	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,229	△27,159
現金及び現金同等物の期首残高	69,738	72,837
現金及び現金同等物の中間期末残高	73,967	45,678

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、「Solution SoC」ビジネスモデルで開発するS o Cを主とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、「Solution SoC」ビジネスモデルで開発するS o Cを主とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年4月28日開催の取締役会決議に基づき自己株式2,722,400株の取得や、2025年8月28日開催の取締役会決議に基づき株式報酬制度「役員報酬B I P信託」及び「株式付与E S O P信託」の導入に伴う自己株式1,212,000株の処分等を行ったことにより、資本剰余金が948百万円増加し、自己株式が5,770百万円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において資本剰余金が33,919百万円、自己株式が10,773百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。